

Convi.BASE® (コンビベース) Ver.7 リリースノート

Convi.BASE クラウドサービスの最新バージョン「Convi.BASE Ver.7」をリリースする運びとなりました。言語設定やタイムゾーン設定、紐づけ機能、ストレージ使用量のグラフ表示など、お客様より数多くお寄せいただいた機能改善・機能追加のご要望に対応いたしました。

新しいコンビベースをぜひご活用ください。

記

1. 機能追加

Convi.BASE クラウドサービス基本機能への機能追加です。現在 Convi.BASE Ver.6 シリーズをご利用のお客様はバージョンアップ後に利用可能になります。

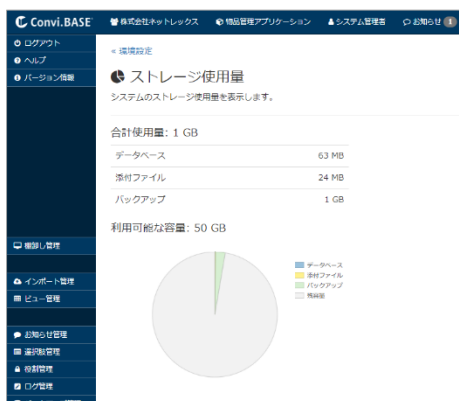
① 言語設定およびタイムゾーン設定（基本機能）

- 言語設定
アカウント設定画面にて、利用する言語を明示的に指定できるようになりました。言語は「日本語」「英語」「ブラウザの言語」から選択できます。
- タイムゾーン設定
アカウント設定画面にて、タイムゾーンを指定することが可能になりました。コンビベースを日本以外で利用する場合に現地時間に合わせた運用が可能になります。



② ストレージ使用量の確認（基本機能）

ご利用いただいているストレージの使用量を確認できるようになりました。ユーザー領域の利用状況を「データベース」「添付ファイル」「バックアップ」ごとに確認することが可能です。（ユーザー領域の初期値は 50GB です）



③ インポート定義の確認 (基本機能)

インポート定義の確認画面が追加されました。インポートの実施前にインポート条件を確認することが可能です。



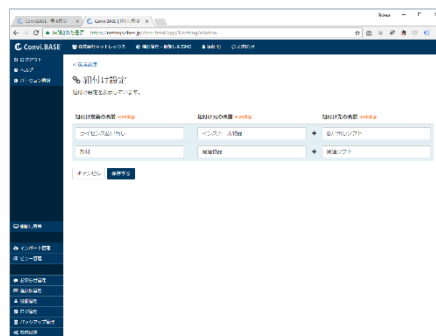
④ テーブル詳細設定 (基本機能)

ビューで設定可能だった「履歴の強制」や「ヘッダーの2段組み表示」がテーブルでも利用可能になりました。



⑤ 紐付け機能 (基本機能)

テーブル間の情報を関連付ける「紐付け機能」が追加されました。例えば、PC 情報とソフトウェア情報を紐づけて「ある PC にインストールされているソフトの一覧」や「あるソフトウェアがインストールされている PC の一覧」など「多対多」の関係进行管理することが可能です。(本機能の利用には事前の設定が必要になります。希望されるお客様は弊社までご連絡ください)



⑥ オプション設定画面 (オプション機能)

「環境設定」にオプション機能の設定画面を追加しました。契約のオプションごとに設定画面は表示・非表示となります。



2. 機能変更・修正

- ◆ ログインユーザーの権限によりアプリケーションの表示・非表示が可能になりました。
- ◆ テーブル・ビューの管理画面の項目設定のツールバーを固定表示にしました。
- ◆ テーブル・ビューの管理画面の項目設定で「詳細」ボタンで詳細パネルを展開するように変更しました。
- ◆ テーブル・ビューの管理画面の項目設定で並び順の操作時に画面が追従するようにしました。
- ◆ メインメニューからヘルプページを直接参照できるようにしました。
- ◆ その他、機能改修および不具合修正を実施しました。

既存ユーザー様へのバージョンアップ適用スケジュールは、あらためてご連絡いたします。
本件に関するお問い合わせは、担当営業または下記連絡先までお問い合わせください。
株式会社ネットレックス ソリューション営業部 マーケティンググループ
TEL : 03-5643-6743, Mail : info@netreqs.co.jp

以上